

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域密着型サービスの意義や役割を考えながら、法人全体の理念ではなく、事業所としての理念を職員で考える必要がある。	地域密着型サービスの意義や役割を考えながら、事業所としての理念をつくりあげる。	○部署会議にて、事業所としての理念を決定する。 ○法人としての理念の中で、地域密着型サービスとしての役割や意義考え、事業所としての理念をつくる。	3ヶ月
2	35	火災や地震、水害等の災害時に昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築く必要がある。	法人全体で防災、避難訓練を毎月実施し、各職員が参加することで役割を把握し、緊急時に迅速な対応ができるようにする。	○隣接する施設の避難訓練についても積極的に参加する。 ○運営推進会議に出席された地域の方々に常に協力体制が図れる様、連携を図る。	3ヶ月
3	41	献立を半年に1回、又は年に1回でも良いので、栄養士にチェックをしてもらい、専門的な意見を求める必要がある。	カロリーの過不足や栄養の偏り、水分不足が起こらないよう、1日全体を通して必要な食事や水分がとれるように支援していく。	○半年に1回、施設管理栄養士に、献立確認を依頼し、カロリーや栄養について専門的な指示を受け、献立策定に反映させる。	6ヶ月
4	49	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援し、普段外出出来ない場所でも本人の希望を把握し、家族や地域の方々と協力しながらでかけられるよう努力する必要がある。	年間計画にて外出行事を検討し策定する。又、普段の生活においても少しの距離でも戸外にでられるようにする。	○敷地内でも、積極的に戸外への外出を計画し、実施する。 ○普段出かけられない場所については、年間計画にて外出を計画し、計画にそって実施する。	1年間
5	45	一人ひとりの希望やタイミングに合わせ入浴を楽しめるように、職員の都合で日程を決めず個々の対応を行う必要がある。	24時間シートを活用し、顧客自身の生活リズムを考慮し、入浴日や時間を設定する。入浴拒否等がないよう顧客のリズムに応じて実施する。	○利用顧客全員の24時間シートを作成し、顧客個々の生活リズムを確認し実施する。 ○24時間シートに関しては、システムにて管理し、常に最新の情報が更新されるようにする。	1ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。